

日本臨床検査医学会 2020年度 第2回理事会 議事録

日 時：2020年7月3日（金）13：30～16：00

場 所：日本臨床検査医学会事務所

出席（事務所）：村上正巳 理事長、東條尚子副理事長、〆谷直人会計理事、宮地勇人総務理事、山田俊幸庶務理事、田部陽子理事、古田 耕監事（7名）

出席（オンライン）：古川泰司、前川真人、吉田 博、大西宏明、下 正宗、長沢光章、矢富 裕 各理事
藤井 聡、諏訪部章、東田修二、木村秀樹、日高 洋、大澤春彦 各支部理事、福武勝幸監事（14名）

欠席：小柴賢洋理事、柳原克紀 支部理事（2名）

I 理事長挨拶（村上正巳 理事長）

村上正巳理事長から挨拶があり理事会の議事を進めた。

II 報告事項

1. 支部報告

各支部の終了した例会・総会・地方会、そして例会・総会・地方会の予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長の退任・新任等について報告があった。

2. 各種委員会報告

1) 学術推進化委員会（矢富 裕 担当理事）

2020年度学術推進化プロジェクト課題について、10課題の応募があり2課題の候補を委員会で選考したこと、2018・2019年度学術推進プロジェクト課題の最終報告が提出され、第67回学術集會会期中に最終報告開催することが報告された。

なお、「審議事項2. 2020年度学術推進プロジェクト研究採択候補課題について」を、委員会報告時に審議し、委員会で選考された2課題は承認された。

2) 編集委員会（吉田 博 担当理事）

編集委員会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、メール審議による委員会を開催している。

投稿論文の査読を評議員に依頼しているが断られることが増えているため、①評議員の専門分野を明示していただく。② 査読を評議員更新の単位とする。ことを常任理事会に提案した。常任理事会から①については評議員に会員マイページの専門分野欄に詳細に登録を依頼すること、②については会員マイページの専門分野に関する成果を確認してから再検討されては、という回答であった。編集委員会としても、その方針で対応すること、優秀論文賞の選考にあたり、公平性を保つため委員が、審査対象となった論文の筆頭著者に加えて、責任著者

（Corresponding author）も審査に関わらないこと、学会誌サイズはA4版とすること、電子化については継続して検討していること、英文誌（Laboratory Medicine International）作成について、Scope、Board member、Instruction to Authorの原案を委員会で作成したこと、その他、トピックスの進捗状況の確認と企画の立案および投稿原稿の検討を行っていることが報告された。

3) 教育委員会（山田俊幸 担当理事）

2020・2021年度委員を、RCPC部門、Catch upセミナー部門、若手・女性の会部門と分けて選定したこと、第67回学術集會教育委員会企画の、RCPC、Catch upセミナーを検討しており、それぞれ、臨床検査領域講習として申請すること、第67回学術集會の企画よりe-learningの対象となるプログラムを検討していること、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、企画していた2020年5月30日（土）第76回関東甲信越支部例会に合わせて実施予定のRCPC、2020年7月17・18日鹿児島での医学教育学会中止に伴い応募していた公募ワークショップ、2020年7月5日（日）東京大学医学部附属病院と2020年7月12日（日）大阪大学医学部附属病院で開催予定していたハンズオンセミナーを中止したこと、今後、常設e-learningを検討していくことが報告された。

4) 臨床検査点数委員会（東條尚子 担当理事、古川泰司 委員長）

2020・2021年度委員会は、委員長を含め3名の継続委員と4名の新規委員の構成で選定したこと、例年6月は内保連において次期診療報酬改定に向けた基本活動方針を決定するが、今年は内保連活動が停止しているため、委員会独自で活動を開始する必要があること、第67回学術集會での委員会企画は、2020診療報酬改定の総括、COVID-19関連検査と保険診療、臨床検査のガイドラインとの連携等に関する企画を予定していることが報告された。

5) 精度管理委員会（山田俊幸 委員長）

2020年度CAPサーベイは、血液関連サーベイ（5月4日米国発送）より初回発送が開始され、6月12日の時点で、参加施設へ1回目の発送が完了し、現在6月末までに発送予定の項目の準備が進んでいること、SARS-CoV-2について、4月21日にPCR検査のサーベイ（COV2）、5月19日に抗体検査のサーベイ（COVS）がリリースされたため、本邦に於いても緊急導入を行い、各サーベイの申込期日のJSLMの参加施設数は、COV2が38施設（内新規4施設）、COVSが5施設（内新規2施設）であったこと、2020～2021年のIVDグローバルニュースは、春号（4月25日発行）、夏号（7月25日発行）、秋号（10月25日発行）、2021年冬号（2021年1月25日発行）の計4号を発行する予定であることが報告された。

6) EBLM委員会（大西宏明 担当理事）

5月11日にオンラインで委員会を開催し、2020・2021年度委員の紹介、委員会のこれまでの活動内容確認のうえ、第67回学術集会委員会企画でのシンポジウムで仮題「AIの基礎知識と応用事例」について、セミナー仮題「臨床検査におけるAIの実際」の内容に関して検討したことが報告された。

7) ガイドライン作成委員会（吉田 博 担当理事、大西宏明 委員長）

2020・2021年度委員会メンバーを確認したこと、第67回学術集会委員会企画については、ガイドライン改訂準備の年であるため開催しないこと、臨床検査点数委員会企画セッション「臨床検査のガイドラインとあるべき臨床検査室（仮題）」で、ガイドライン作成委員会側から参加予定であること、ガイドラインへの質問に対応していること、転載許可について、ガイドラインの転載・引用の許可を求める申し出が3件あり、いずれも転載可と判断したこと、7月20日に委員会をWEB会議で開催予定であることが報告された。

8) 医療安全委員会（大西宏明 庶務理事、藤井 聡 委員長）

2020・2021年度委員を選定したこと、第67回学術集会医療安全委員会企画として、仮題「医療法改正後の情勢とこれからの臨床検査に必要なこと」とし、専門医共通講習（医療安全2単位）として申請予定であることが報告された。

9) チーム医療委員会（田部陽子 担当理事）

「在宅医療における臨床検査医学」と「パニック値」とを柱として活動しており、第67回学術集会では「在宅医療と臨床検査」に関する委員会企画を開催予定であること、パニック値については、医療安全体制の中に位置付ける提言をまとめたため、今後、更に主要医療機関に配信して、意見聴取を行うとともに、現場での対応の変化をモニターする予定であることが報告された。

10) 新型コロナウイルスに関するアドホック委員会（村上正巳 理事長）

2020年2月に新型コロナウイルス感染拡大のため、新型コロナウイルスに関するアドホック委員会を組織した。メール、zoom会議を行い以下の提言を作成・公表し、今後は新型コロナウイルスの検査に関して臨床研究などを検討することが報告された。

- ・2020年3月1日：新型コロナウイルスに関する提言（第1版）
- ・2020年3月16日：新型コロナウイルス検査に係わる施設基準ならびに、検体搬送・精度管理の方針【提言】
- ・2020年4月13日：日常検査体制の基本的考え方の提言
- ・2020年4月17日：COVID-19における抗体検査についての基本的考え方
- ・2020年5月12日：新型コロナウイルス検査に係わる施設基準ならびに、検体搬送・精度管理の方針【提言】改訂版
- ・2020年5月26日：COVID-19抗原検査についての基本的な考え方
- ・2020年6月16日：新型コロナウイルス核酸検査に係わる施設基準ならびに検体搬送・精度管理の方針【提言】

なお、このような外部向けの公表の際には、学会、個人等、発表者を明示するのがよいのではないかという意見があった。

11) 試験委員会（山田俊幸 委員長）

2020年3月7日（土）にメール審議により第1回試験委員会・試験実行委員会を開催した。

専門医認定試験出題方針について、筆記試験は6科目（一般臨床検査学/臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学/輸血学、臨床生理学、臨床検査医学/臨床病理学総論）、多肢選択問題計60題（各科目10題）と記述

式問題。実技試験は5科目(臨床検査医学/臨床病理学総論以外)。口頭試問は1科目(臨床検査医学/臨床病理学総論)。なお、「臨床検査医学/臨床病理学総論」の中で、医療倫理、医療安全、遺伝子等として出題。多肢選択問題10題中5題、記述式問題は1題、遺伝子と関係した倫理の出題を行うこと、判定基準については、得点配分は、筆記試験100点(MCQ50点、記述50点)、実技試験100点、合計200点とし、総合合格は、平均点60%以上で40点未満の科目なしとすること、来年度に向けて、機構専門医の試験方針、学会専門医未合格者への試験方針について、9月を目途に原案を作成し、年内に公表を目指すことが報告された。

3. 第67回学術集会報告(岩手2020/11/19(木)~11/22(日)、諏訪部章 会長)

2020年11月19日(木)~22日(日)に、アイーナ(いわて県民情報交流センター:盛岡)において、諏訪部章会長(岩手医大)のもと、テーマ「人工知能(AI)時代の臨床検査」として開催予定であり、AIと臨床検査に関する特別講演、教育講演、シンポジウム、AI検査室の設営、特別講演、教育講演、学会共催シンポジウム、委員会企画などがほぼ決定し、その日程表が紹介された。

開催方法については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら検討しており、情報交換会開催の在り方について、検討依頼があり、立食での飲食は、避けるべきではないかとなった。引き続き状況をみていくこととなった。

4. 第68回学術集会報告(富山2021/11/11(木)~11/14(日)、北島勲 会長) (山田俊幸 庶務理事)

2021年11月11日(木)~14日(日)に、富山国際会議場、富山市民プラザにおいて、北島勲会長(富山大)ならびに仁井見英樹副会長(富山大)のもと、テーマ「学術的な臨床検査医学のおもしろさを広げよう!」とし開催予定であることが報告された。

新型コロナの影響で企業からの協賛が難しいこと、また、学会からの補助金が昨年より100万円となったため、学術集会の規模を縮小しての開催の可能性についての了承依頼があり、了承された。

5. 関連団体等への派遣委員等について(更新)(村上正巳 理事長)

前回、理事会3月28日以降の当会からの下記派遣委員(敬称略)等について報告された。

- 1) 日本医学会連合 Japan CDC 創設に関する委員会(第二次)(仮称)委員(任期:2020/06/15に推薦、承認日~2021/3/31) 委員:宮地勇人
- 2) 日本医師会 疑義解釈委員(任期:2020年7月~2022年6月末日)
委員:矢富 裕、古川泰司
- 3) JCCLS ISO/TC212 国内検討委員会
団体委員:村上正巳先生に交代
※任期、その他の同委員会委員について、JCCLSに確認する。
- 4) 認定血液検査技師・認定骨髄検査技師制度(任期:2020年1月1日~2021年4月30日)
審議会委員:海渡 健
協議会委員:小池由佳子先生
- 5) 認定検査技師機構(2020/3/28~)
理事:村上正巳に交代
- 6) 臨床検査振興協議会 診療報酬委員会の各小委員会委員(任期:2020/7/1~2022/6/30)
診療報酬改定小委員会委員:東條尚子、古川泰司
診療報酬制度小委員会委員:山田俊幸

6. 認定試験について

1) 臨床検査専門医認定試験(東京2020/9/12(土)~13(日))(東田修二 実行委員長)

2020年9月12日(土)~13日(日)、東京医科歯科大学で、2020年度実施第37回臨床検査専門医認定試験を実施予定、初回受験者23名、再受験2名(全科目受験)であることが報告された。

2) 臨床検査管理医講習・認定試験(東京2020/9/13(日))(山田俊幸 実行委員長)

2020年9月13日(日)東京医科歯科大学で、2020年度実施第12回臨床検査管理医講習・認定試験を実施予定、受験者は35名であることが報告された。

7. 2020年度功労賞「河合忠賞」受賞候補者について(村上正巳 理事長)

2020年度功労賞・河合忠賞の規定に合致した候補者について、6月30日に、理事、監事に7月31日付で推薦依頼をしているが、なお、参考資料として名誉会員と功労会員の名簿が示され、あらためて推薦依頼がなされた。

8. 「ドライケミストリによるアルブミン測定」について（村上正巳 理事長）

日本臨床検査薬協会医療保険委員会から、令和2年診療報酬改定アルブミン BCG 法（ドライケミストリ試薬）に関する課題が情報共有のため示され報告された。

9. その他（村上正巳 理事長）

JACLaS（日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会）の JACLaS EXPO 2020 が開催中止となった場合、JACLaS EXPO からの当会への協賛金（1,000 万円）は用意できないことが報告された。

Ⅲ 審議事項

1. 2020・2021 年度各種委員会委員について（村上正巳 理事長）

2020・2021 年度各種委員会委員名簿が提示され、承認された。

2. 2020 年度学術推進プロジェクト研究採択候補課題について（村上正巳 理事長、矢富 裕 担当理事）

報告事項 2. 各種委員会報告の学術推進化委員会報告で、審議済。

3. COVID-19 関連事項について（村上正巳 理事長、山田俊幸 庶務理事）

全国検査部長・技師長会の施設に向けて、COVID-19 に対する検査部門の対応をアンケート調査することとした。結果は学会から公表するが、第 67 回学術集会における全国検査部長・技師長会講演会でも発表することとした。

4. 編集委員会からの検討依頼事項について（村上正巳 理事長、吉田 博 担当理事）

報告事項 2. 各種委員会報告の編集委員会報告で、審議済。

5. チーム医療委員会のアンケートについて（田部陽子 担当理事）

COVID-19 対策において、各地で臨床検査技師や臨床検査医を含む多職種がチームとして多様な取り組みが実施されているが、現況と今後の課題について全国的に共有するためのアンケート調査を計画していることが報告された。審議事項 3. でのアンケート調査とも重複するがそれぞれで実施することが承認された。

なお、アンケート結果は、委員会で集計して学術集会等で報告する予定である。

今回の COVID-19 のために、実際に、参加者が対面で議論する機会が無くなり、アンケート調査が増えている。回答する側ではアンケート疲れもあると思われる。そのため、アンケート内容に関して、学会が、どの程度関与しているのかを明示するのがよいのではないかという意見があった。

6. 臨床検査専門医関連事項（山田俊幸 専門医担当理事）

1) 日本専門医機構専門医試験における統一基準

日本専門医機構より、専門医試験における実施時期、審査形式、合格基準が統一基準として示されたが、当学会が実施している内容とほぼ同じであるため、大きな変更なく実施ができることが報告された。

2) COVID-19 感染拡大影響による専攻医に向けた対応

日本専門医機構より出された、COVID-19 感染拡大の影響による専攻医の研修期間、症例数、共通講習の受講、ローテーション、専門医試験についての対応について報告された。

7. 専門医試験に係る規定の改定について（山田俊幸 専門医担当理事）

次項の規定改定が提案され、承認された。

1) 臨床検査専門医制度規定

日本専門医機構認定専門医との区別、研修開始が終了していること、最終試験年を明瞭にするため、日本臨床検査医学会臨床検査専門医の認定の新規養成は、平成 30 年 3 月 31 日までの研修開始をもって終了しており、新規認定は令和 7 年度の認定試験を最終とすることを追記する。

2) 臨床検査専門医認定更新規定

学会または専門医会主催の医療安全講演会は 2 時間設定であり、バランスをとるために、機構認定の医療安全講習会も 2 単位を取得単位として単位取得を要求してきたが、学会・専門医会主催の医療安全講演会も 1 時間設定を認

めたいため、医療安全講習2単位を撤廃し、日本臨床検査医学会または日本臨床検査専門医会が主催する医療安全に関する講習会、あるいは、日本専門医機構が認定する共通講習(医療安全)に1回以上出席する。

3) 認定試験内規 5. 試験の合否判定と設定方法

2019年度の臨床検査専門医試験不合格者から、再受験の場合の科目は不合格科目(合格した科目は受験不要)としていた経緯のため、6科目については、すべての科目に合格しなければならない。不合格の科目については全科目合格するまで当該科目を再受験することができるとする。

8. WEB会議運用について(村上正巳 理事長、東條尚子 副理事長)

1) WEB会議用内規

COVID-19感染拡大の影響により外出自粛が求められるためWebでの会議が主流となっているため、Web会議用内規(案)が提示された。監事より、会議の成立の記載も必要ではないかという指摘があり、再検討することとなった。

2) ホスト用マニュアル

Web会議運用でのホストの開催手順のためのマニュアル(案)が提示され、承認された。

9. その他

2020年度 審議会、理事会日程の確認(山田俊幸 庶務理事)

次回以降の2020年度の臨床検査専門医・管理医審議会、理事会、2021年度の第1回理事会と定時社員総会の日程が報告され、確認依頼がなされた。

【2020年度 審議会、理事会日程】

第2回審議会：2020年10月9日(金) 13:00～14:30

第3回理事会：2020年10月9日(金) 15:00～17:30

【2021年度 定時社員総会、理事会日程】

2020年度に係わる定時社員総会および理事会：2021年3月27日(土)

IV 閉会(東條尚子 副理事長)

東條尚子副理事長より閉会の言葉があり、2020年度第2回理事会は閉会された。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し出席理事長、副理事長及び監事がこれに記名押印する。

2020年7月27日

一般社団法人 日本臨床検査医学会 理事会

議長 理事長 村上正巳

副理事長 東條尚子

監事 福武勝幸

監事 古田 耕